

令和4年度 モビリティコンソーシアム 横連携WG



開始までお待ちください。

- Zoomの設定のお願い
 - カメラオン
 - お名前:「会社名__お名前」

第3回2023年2月28日

オンライン会議

オンラインで進めるにあたり、以下について設定をお願いいたします

- 名前の表示
 - 「貴社（団体）名_お名前」としてください。（例：千葉市_鈴木）
- 会議中のカメラは常時オン、マイクは発言時のみオンとしてください。
- 発言は自由となります。適宜ご発言をお願いいたします。
 - 『チャット』や『手を挙げる』機能を活用いただいても構いません。
- 録音・録画、画面の撮影は厳禁でお願いいたします。
 - 発表資料に非公開情報が含まれます。



令和4年度 モビリティコンソーシアム 横連携WG



第3回2023年2月28日

本日の目的

本日の目的は以下の通りです。

目的

1. 各PTでの議論やMaaS実証実験の進捗を共有し、コンソーシアム全体で目線合わせをする
2. 来年度にむけた体制についてコンソ全体で合意形成を行う

	アジェンダ	発表者	時間
15:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
15:35-	今年度MaaS実証実験について		
	今年度MaaS実証実験について進捗共有	NTTドコモ様	15分
	質疑応答	-	5分
15:55-	各PTの振り返り（議論と課題の共有）		(15分)
	モビリティ利活用PT	JR東日本様	7分
	MaaSプラットフォームPT	MONET Technologies様	7分
16:10	来年度コンソーシアム体制について	事務局	10分
16:20	幕張豊砂駅開業まつりの開催のお知らせ	イオンモール様	5分

本日の参加者

本日の参加者は以下の通りです

本日まで出席団体名（順不同）

MONET Technologies株式会社	株式会社幕張メッセ
イオンモール株式会社	損害保険ジャパン株式会社
東日本旅客鉄道株式会社	株式会社N T Tドコモ 千葉支店
株式会社千葉ステーションビル	シャープ株式会社
小田急電鉄株式会社	京成電鉄株式会社
東京海上日動火災保険株式会社	株式会社スパサンフジ 幕張温泉 湯楽の里
イオンコンパス株式会社	アイサンテクノロジー株式会社
イオン株式会社	神田外語大学
コストコホールセールジャパン株式会社 幕張倉庫店	

22年度幕張新都心版MaaS実証実験

概要と進捗共有

(株) NTTドコモ

モビリティ利活用PT

モビリティ利活用PT

第1回、第2回PTでのアジェンダや検討内容は以下の通り

第1回PT（8月5日実施）

第2回PT（9月13日実施）

アジェンダ

1. 昨年度の取組を振り返り、今年度のPTでのスコープを定める
 - 昨年度の取り組み/検討内容の共有（回遊性向上PT、資源の最適化・共有化PTの取組み）
 - 今年度の取り組みの方向性（来訪者の回遊性向上）の共有
 - グループワーク：移動課題の解決にむけた施策だし
2. モビリティステーション設置に向け、アイデアを膨らませる
 - モビリティステーション設置事例共有
 - 新駅開業に向けた回遊性向上への取組の経過報告
 - グループワーク：モビリティステーション設置の立地、機能面の検討

幕張新都心の移動課題に対する解決施策を検討

主な検討内容

- **移動課題解決施策**
 - 移動課題：施設のスケールが大きい、適切なモビリティやパーク＆ライドの不足、混雑・渋滞の課題等
 - パーク＆ライド：駐車場・ポートの工夫、モノの移動の工夫等
 - モビリティライド：利用者へのインセンティブ制度設計、ユースケースに対応したモビリティの設置、街全体のブランディング等
- **モビリティステーション設置の検討**
 - 立地：駐車場や駅前、歩道・バス停への設置
 - 機能：認知拡大/視認性向上施策、充電スポット、休憩施設としての機能設置等

1. 回遊性向上施策の体制

- 昨年度と第1回で出たアイデアから6つの施策に収斂
- グループワーク：アイデアの内容の具体化、実行に向けての課題の洗い出し、解決策の検討

2. 回遊性向上施策とMaaSとの連動方法の検討

- 今年度のMaaSの取り組み案について
- グループワーク：回遊性向上施策とMaaSの連携、自社資源の活用についての検討

回遊性向上につながる施策案について、インパクトや実現可能性から整理して検討

■ 回遊性向上施策実行に向けた課題

- 対利用者：認知拡大、インセンティブ設計、安全面の設計、高齢者や子供に向けた制度設計
- 事業性：持続的なビジネスモデルの設計、費用負担
- 連携：モビリティやインフラを共有できていない、役割分担、MaaSアプリとモビリティアプリの分断
- インフラ：マイクロモビリティと歩行者の共存、防犯、規制緩和

■ MaaSとの連携

- 認知拡大のための施策、ルートやモビリティ横断での情報提供、リアルタイムでの情報提供、各施設との連携、既存のアカウントやポイント、決済手段との連携

モビリティ利活用PT

第3回、第4回PTでのアジェンダや検討内容は以下の通り

第3回PT（12月20日実施）

第4回PT（2月10日実施）

アジェンダ

1. 回遊性向上施策の実現に向けた体制づくりの検討

- 各社取り組みたい内容の発表
- グループワーク：各社が発表した施策案の絞り込み（観点：実現可能性、ニーズ、期間等）、実装に向けた討議（実施体制、課題の洗い出し、スケジュール）

1. 来年度のPTで取り組む内容や体制について

- 今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有
- グループワーク：来年度のPTで取り組むべき内容や体制について（来年度検討するテーマに対する意見交換、来年度の体制について討議）

主な検討内容

■ 施策A：来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上

- MaaSアプリの1コンテンツとしてスタンプラリーを組み込む
- 今後の課題：駅前イベントとメッセ来訪者は必ずしも結びついていないため紐づけ方を検討

■ その他施策：様々なモビリティ・MaaSアプリを利用した回遊性向上施策

- 乗合バスの民間主導は難しいため、行政主導で進めたい
- 公共性の高い乗り物には需要があり、コスト面でも現状各社が負担しているコストが集約するので利点がある
- ビジネスマンの回遊に関して、深夜帯など飲酒の可能性を考えるとキックボードではなくバスの方が良い

■ 来年度の実施体制

- 実施したい事業者（事務局含む）が事業を提案・座組の構成を行う＝PT立上げ

■ 来年度取り扱うテーマ

- 立上がったPTに沿ったテーマを議論

【出た主な意見】

- 具体的な目的を達成することをゴールとし、参加団体を絞ることでスピード感が向上
- 小さな座組でターゲットを絞り、まずはスモールスタートすることが重要
- 来場者の回遊性向上のため、新駅開業時のイベントに合わせて周辺施設とモビリティを一体に繋ぐ仕組みが必要

モビリティ利活用PT

4回のPTを通しての検討の成果、来年度検討テーマ（案）は以下の通り

今年度PTにおける検討結果

回遊性に関する課題

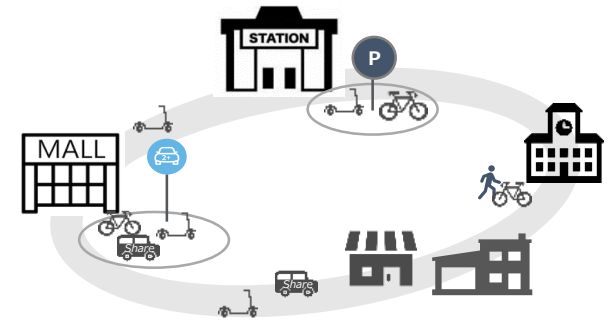
- 幕張新都心の主な移動課題
 - 施設のスケールが大きく、館内の移動が困難
 - 適切なモビリティやパーキングの不足
 - (慢性的な) 道路の混雑・渋滞
 - 街全体のブランディング不足

回遊性向上に関する検討

- 上記課題に対して回遊性向上施策案について検討
- 検討した施策案から実現性、インパクト等で選定し、会員にアンケートを実施した結果、施策Aに決定。施策Cも高得点
 - **【施策A】来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上**
 - ✓ 例：スタンプラリーの実施、MaaSアプリとの連携
 - **【施策C】家族などの複数利用者を想定したモビリティで各商業施設を結ぶ**
 - ✓ 例：乗合バスの運行により、回遊性・利便性を向上させマイカー利用の縮小による渋滞緩和に繋げる
- その他施策としては、様々なモビリティ・MaaSアプリを利用した回遊性向上施策が挙げられた
 - 例：深夜帯など飲酒の可能性を考えるとキックボードではなくバスを活用

来年度検討テーマ（案）

- 今年度選定した**回遊性向上施策の実行**
- 乗合バス等の実施可否検討
- イベント実施内容・体制の検討 等



PT体制を踏まえ具体化

※モビリティステーションについてはマイクロモビリティPTにてご報告

MaaSプラットフォームPT

MaaSプラットフォームPT

第1回、第2回PTでのアジェンダや検討内容は以下の通り

第1回PT（8月29日実施）

第2回PT（10月19日実施）

アジェンダ

1. 今年度のPT目標共有・社会実装に向けた体制説明
MaaSの実証実験や社会実装に向けた検討や練上げ、実装後のサービス拡張に向けた検討
2. 実証実験について検討
 - 昨年度・今年度の実証実験について報告
 - 今年度の実証実験における課題の共有
 - 昨年度実施した移動実態調査から、住民・来訪者の実態の共有
 - グループワーク：課題ごと（認知獲得、目的想起、モビリティ連携）に、解決策・協力体制検討

これまでの実証から見た課題に対する施策を検討

1. 実証実験準備の進捗確認
2. 社会実装に向けた認知獲得施策の検討
 - グループワーク：施策の具体化、施策実行の体制検討
3. MaaSを活用した集客施策の検討
 - グループワーク：MaaSを活用した集客施策の実現性の検討（集客課題、データ共有のメリット、課題）
 - グループワーク：MaaSへの自社参画の可能性の検討、MaaSを活用した集客施策のアイデア出し

来訪者等にMaaSを認知して頂くことが必要であり、また、他施策と比べて各社が連携可能な領域と考えられるため、認知獲得施策を軸に検討

主な検討内容

- 認知獲得施策（住民・来訪者）
 - リアルタイムのイベント、主要施設以外の観光資源情報
 - アナログなチラシや広告、SNS活用、地域団体/企業との連携、来訪前に認知してもらう施策
- 目的想起の施策
 - 来訪者の目的に合わせた情報提供、混雑状況/移動手段の情報提供、クーポン等の仕掛け
- モビリティ連携施策
 - 複数モビリティを横断利用できるようにする乗車券や利用料金の設計、大規模イベント時に利用してもらえる工夫

- MaaSの認知獲得施策の検討
 - 街全体で連携しモニターや風船などを活用した案内
 - ドコモショップ、その他商業店舗にQRコードを置き案内
 - イオンアプリ、決算アプリ等と連携したMaaS案内施策
 - イベント主催者にとってのメリットを打ち出す、思い出作りになるキャンペーンを実施する等
- MaaSを活用した集客施策の検討
 - 商業施設にとって、立ち寄り経路、リピーター、顧客属性がわかることは有効
 - 施設内の人流やモビリティ・駐車場データと連携できると良いがデータ連携が課題

MaaSプラットフォームPT

第3回、第4回PTでのアジェンダや検討内容は以下の通り

第3回PT（12月16日実施）

第4回PT（2月13日実施）

<p>アジェンダ</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度MaaS実証実験 <ul style="list-style-type: none"> ■ 実証採択者による進捗共有 2. MaaS認知獲得施策の具体化検討 <ul style="list-style-type: none"> ■ 認知獲得施策の事例紹介 ■ 各社取り組みたい内容の発表 ■ グループワーク：各社が発表した施策案の絞り込み（観点：実現可能性、ニーズ、期間等）、実装に向けた討議（実施体制、課題の洗い出し、スケジュール） 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度MaaS実証実験及び来年度MaaS方向性について <ul style="list-style-type: none"> ■ 実証採択者による共有 2. 来年度のPTで取り組む内容や体制について <ul style="list-style-type: none"> ■ 今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有 ■ グループワーク：来年度のPTで取り組むべき内容や体制について（来年度の体制について討議、来年度検討するテーマに対する意見交換）
<p>主な検討内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施策A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 他社と垣根を超えた連携・コラボをしていくことが必要 ➢ 社内で広告費用の投入可否を決定するために、広告効果がある程度判明すれば参画しやすい ➢ アナログ+デジタルで戦略的に発信していくことが必要 ■ MaaSアプリと連携した認知獲得施策 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 新駅開業という注目度が高いタイミングに合わせて施策を打つべき ➢ 会社横断的に新駅開業を記念した共通のロゴやMaaSのロゴを使用することで、一体感を持った盛り上げが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 来年度の実施体制 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 実施したい事業者（事務局含む）が事業を提案・座組の構成を行う＝PT立上げ ■ 来年度取り扱うテーマ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 立上がったPTに沿ったテーマを議論 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【出た主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 細かいPTで機動的に議論できるのは良い ● 利益が出る事業・PTだけになる可能性があるため、公共性の高い団体が参加すべき ● MaaSに参加する企業にとってのインセンティブの可視化や新駅の乗降客数増加等の効果検証を検討すべき </div>

MaaSプラットフォームPT

4回のPTを通しての検討の成果、来年度検討テーマ（案）は以下の通り

今年度PTにおける検討結果

MaaS 実証実験

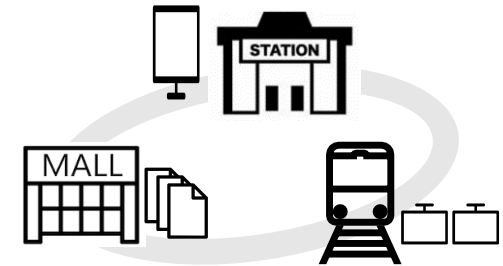
- 昨年度MaaS実証実験から引き継ぎ検討すべき課題
 - **認知獲得施策** ⇒今年度PTでの重点検討内容
 - 目的想起
 - モビリティ連携施策
- 今年度MaaS実証実験
 - **MaaSを活用した集客施策の検討**
 - ✓ データ連携等は集客効果次第で可能のため継続検討
 - レコメンド機能を搭載したモビリティ・地域情報を案内するMaaSの実証実験を実施

MaaS 認知獲得 施策

- MaaSの認知施策についてアイデア出しを実施
- 検討した認知施策案から実現性・インパクト等で選定し、会員にアンケートを実施した結果、施策Aに決定
- **【施策A】街全体で連携してMaaSをアナログに案内**
 - 内容
 - ✓ 他社と垣根を超えた連携・コラボを実施
 - ✓ アナログ＋デジタルで戦略的に発信
 - ✓ 駅やバスと接続
 - ✓ 広告効果を明らかにすることで連携企業を募る

来年度検討テーマ（案）

- MaaSの社会実装に合わせて「期間限定」で体制（PT）を構築し、広範囲にアナログに周知に取り組む
- 広告効果等を分析した上で、効果的・効率的な周知方法を選定し、「中長期的な体制」の構築も視野に入れる

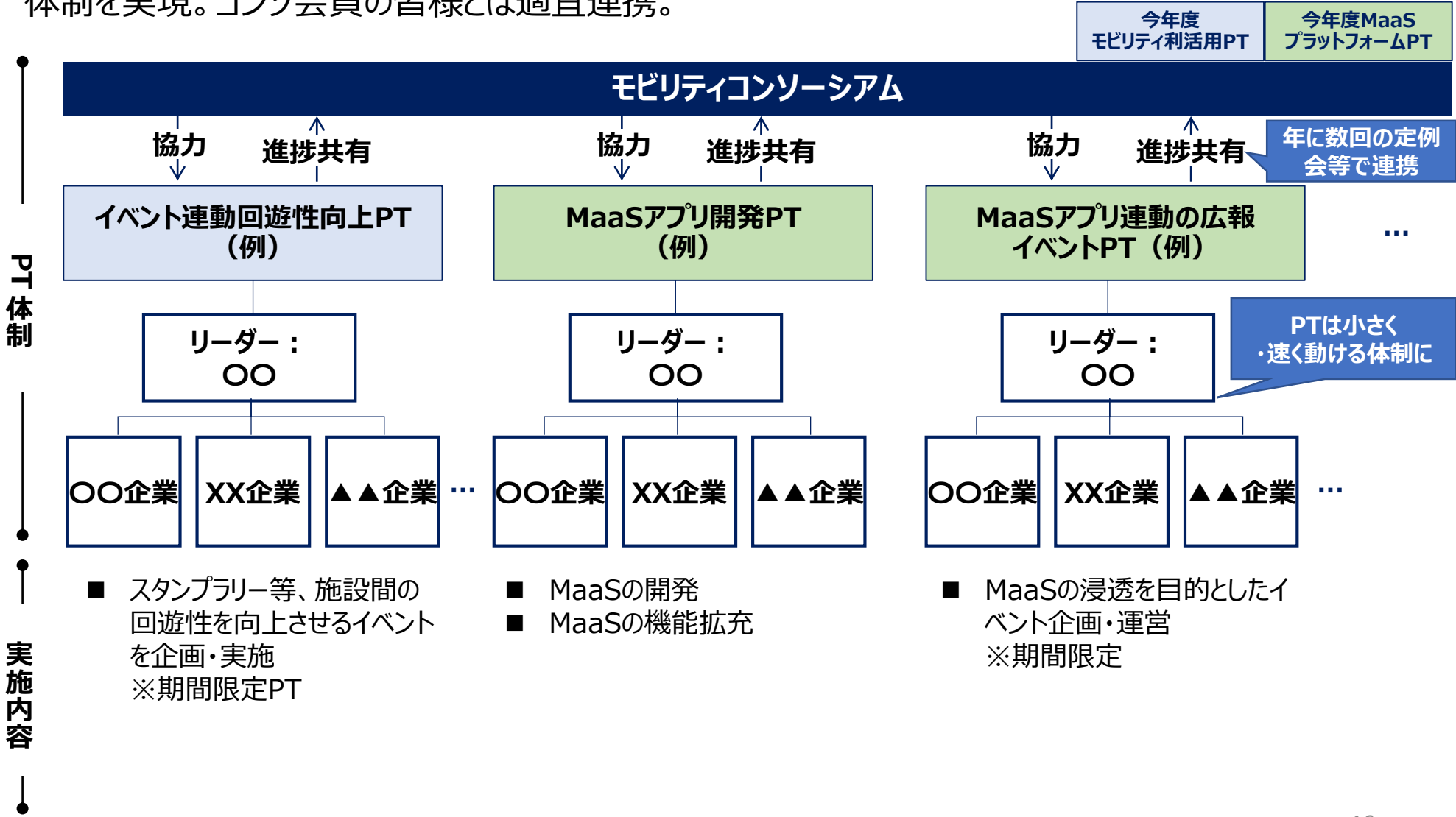


PT体制を踏まえ具体化

来年度の体制について

来年度の体制案

来年度は具体的事案に対して、実施主体（リーダー）を筆頭に、各PT2~5社程度で素早く動ける体制を実現。コンソ会員の皆様とは適宜連携。



来年度の体制案

来年度は、WGを廃止し、**会員発意でのPTテーマ設定・立ち上げ、リーダー会員による主体的なPT運営**を想定

来年度コンソーシアムの体制について



会議体の位置づけ

- WG
 - 今年度は総会の下に設置していた**WGを廃止**
- PT
 - 各会員の**知見や強みを生かした活動を展開しやすい体制に変更**



PTの組成方法

- 各会員（千葉市含む）から**提案されたテーマをもとに**個々のPTを組成
 - PT立ち上げに関する手続きやPTの数は未定
- 原則として**PTリーダーとなる会員がメンバー集め、PTを組成**
 - メンバー集めに関するご相談があれば事務局も協力可能



PTの運営方法

- 体制
 - **リーダーを中心に推進**
 - **事務局も必要に応じてPTに参加**して状況を確認
 - 実証実験等において調整を要する各関係機関とも連携
- 実施期間
 - **短期間（例：2～3カ月）限定**の実施も可能
- 取り組み内容
 - **総会や中間まとめ報告会で共有**するなど、適宜コンソーシアムにフィードバック

来年度の体制案

PTの細分化により意思決定のスピードが向上するなど、概ね体制案に合意する意見が多かった
また、PT間の横連携や公共性のある団体の参加を求める意見も挙げられた

来年度の体制について

体制案については概ね合意	賛成意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ PTをテーマ毎に細分化することに賛成 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 具体的な目的を達成することをゴールとし、参加団体を絞ることで意思決定や議論のスピードが向上 ➢ 企業側が議論したいテーマであれば具体的かつ責任ある発言が可能
	必要な工夫	<ul style="list-style-type: none"> ■ PTメンバーの集め方 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事務局側がPTに必要なプレーヤーを示すことで、各企業がPTでの検討内容を認識したうえで参加可能 ■ PT間の横連携 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 複数イベントの連携に向け、PT間の情報共有が必要 ■ 外部意見の取入れ <ul style="list-style-type: none"> ➢ すでに幕張新都心で仕掛けを行っている団体と連携することで施策を具体化 ■ 公共性の高い団体の参加 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 利益が出る事業・PTだけになる可能性があるため、公共性の高い団体が参加すべき
テーマ案	モビリティ利活用PT	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施策A（来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上）関連 <ul style="list-style-type: none"> ➢ メッセ来場者の属性はイベント種類・規模により異なるので実行のイベント・目的に絞り、スモールスタートでの実施を検討 ➢ イベント開催時に駅の混雑予測の発表による周辺施設への立ち寄りをするを検討 ■ 新駅開業に合わせた回遊性向上施策 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 新駅開業のイベントに合わせた周辺施設とモビリティを一体的につなぐ仕組みを検討（インセンティブ付与）
	MaaSプラットフォームPT	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加企業のインセンティブ設計 <ul style="list-style-type: none"> ➢ MaaS参加で得られる企業インセンティブの可視化方法に関する検討 ■ 新駅開業に合わせたイベント企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 各社が行う新駅開業に合わせたプロモーションやイベントを、コンソで連携して開催することを検討 ➢ プロモーションに関する費用負担について検討（各社按分など）

次回までのお願い・アナウンス

アナウンス

事務局からのアナウンスは以下の通り

1. 第5回総会

- 日時：3/10（金）14:30~15:30
- 場所：千葉市役所新庁舎（高層棟2階）

2. その他

- 2023年度コンソーシアム運営体制については、第5回総会にて決定後、正式にアナウンスさせていただきます。

「学」
について
IMAGE
PHOTO

令和4年度 第3回横連携WG

ありがとうございました！

MAKUHARI
NEW URBAN
CENTER 21

以上